

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1 学則変更（収容定員変更）の内容

大妻女子大学（以下「本学」という。）は、下記のとおり、令和2年度から収容定員変更を行う。

なお、本件は、大学の収容定員の総数の増加を伴わない変更であり、また、「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律（平成30年法律第37号）」第5条第3項に定める「特定地域」外に所在する学部に係る、収容定員の総数の増加を伴わない変更である。

【現行】

学部・学科・専攻			入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	
千代田 キャンパス	家政学部	被服学科	110	7	454	
		食物学科	食物学専攻	80	—	320
			管理栄養士専攻	50	—	200
		児童学科	児童学専攻	80	—	320
			児童教育専攻	50	5	210
	ライフデザイン学科	120	7	494		
	文学部	日本文学科	120	7	494	
		英語英文学科	120	7	494	
		コミュニケーション文化学科	120	7	494	
	社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	100	5	410
環境情報学専攻			100	5	410	
情報デザイン専攻			100	5	410	
比較文化学部	比較文化学科	165	5	670		
計			1,315	60	5,380	
多摩 キャンパス	人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	75	10	320
			社会・臨床心理学専攻	75	10	320
		人間福祉学科	100	10	420	
	計			250	30	1,060
合計			1,565	90	6,440	



【令和2年度から】

学部・学科・専攻			入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	現行からの 増減	
千代田 キャンパス	家政学部	被服学科	110	7	454	0	
		食物学科	食物学専攻	80	—	320	0
			管理栄養士専攻	50	—	200	0
		児童学科	児童学専攻	80	—	320	0
			児童教育専攻	50	5	210	0
	ライフデザイン学科	120	7	494	0		
	文学部	日本文学科	120	7	494	0	
		英語英文学科	120	7	494	0	
		コミュニケーション文化学科	120	7	494	0	
	社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	100	5	410	0
環境情報学専攻			100	5	410	0	
情報デザイン専攻			100	5	410	0	
比較文化学部	比較文化学科	165	5	670	0		
計			1,315	60	5,380	0	
多摩 キャンパス	人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	80	4	328	8
			社会・臨床心理学専攻	80	4	328	8
		人間福祉学科	100	2	404	△16	
	計			260	10	1,060	0
合計			1,575	70	6,440	0	

2 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学人間関係学部は、社会生活の場における人間関係の理解を通して現実社会を理解し、社会的諸問題の解決に必要な専門知識を身につけて社会に貢献する人材、個人と社会の関係に係わる心理的諸相を深く理解し社会に貢献する人材、また、自助と連帯の理念と方法に即して、理想の福祉の実現に寄与し得る専門知識と技術を身につけて社会に貢献する人材の育成を目指して、平成11年度に多摩キャンパス（東京都多摩市）に開設した学部である。人間関係学科社会学専攻及び社会・臨床心理学専攻、人間福祉学科で構成されており、以来、上記人材の育成、また、それを体現する社会福祉主事、社会調査士、認定心理士、社会福祉士、介護福祉士などの輩出に努めている。

さて、入学定員増加を行う人間関係学科社会学専攻及び社会・臨床心理学専攻においては、過去5年間、資料1「入学志願状況等」のとおり志願者数が入学定員を大きく上回っており、平均志願倍率はそれぞれ6.20、5.52と、大学の都心回帰が多く見られた地域にあって、高い水準にあると言える。

また、国は、平成30年6月に「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律」、以後、関連政令等を公布して、まだ緒に就いたばかりではあるが東京都特別区以外の地域の大学の振興等に注力することとしており、プラスの効果が期待される。

一方、人間関係学部では、資料2「編入学志願状況等」のとおり、志願倍率がかなり低く、編入学定員を充足していない。全国的な短期大学の学生数の減少等に伴って今後それに拍車がかかることが予想される。

以上のことから、上表のとおり、人間関係学科社会学専攻及び社会・臨床心理学専攻の入学定員増加を行うこととし、人間関係学部の編入学定員削減を行って入学定員増加に充当することとした。

3 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(1) 教育課程の変更内容

本学では、学士課程教育の質的変換に向けて、さまざまな施策に取り組んでいる。教育課程では、「学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「入学者受入れの方針」を明確化し、そのもとで、専門教育科目について平成27年度までに開設科目の精選を行い、体系化を行ったところである。また、グローバル化の進展に伴い、本学の英語学習の環境を整備し、英語教育をより充実・強化するため、平成29年度に英語教育研究所を設置し、効率的な学びを可能にする習熟度別クラス編成、各英語検定試験の受験サポート、英語学習相談のためのオフィスアワーの設置などの取り組みを行っている。さらに、人間関係学部としては平成30年度から31年度にかけて、ネイティブスピーカー担任制による英語教育プログラムTEP(Tama English Program)とその入学前教育の一環である入学前短期集中キャンパス英会話の導入や、共生社会の実現に必要な方策や技術の開発、共生社会に関わる社会文化全般の基礎的研究、並びにその結果の応用的発展について、広く学際的見地から研究調査等を行う人間関係学部附属の共生社会文化研究所の設置などの取り組みを行っている。今後も以上の取り組みの充実・発展を目指していくこととしており、収容定員変更前と同等以上の内容を担保することができると考える。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

〈教育方法〉

学士課程における社会的・職業的自立が求められている時代背景に即して、実社会のニーズであるコミュニケーション能力や主体性などの基礎的能力の育成を図る必要があることから、演習科目や体験型授業を積極的に取り入れている。そして、それらの成果の一例として、課題解決型授業「キャリア・ディベロップメント・プログラム」では、企業や地方自治体と連携したプログラムを実践し、高い評価を得ている。

また、新入生対象の必修科目として「大妻教養講座」を開講し、建学の精神、大学生活の過ごし方等を解説し、学習の動機付けを行っている。

〈履修指導方法〉

ガイダンス、オフィスアワー、クラス担任制を活用してきめ細やかな履修指導・学習指導を行っている。

また、授業の予習・復習、自学自習の学習成果を高めるため、授業支援システム「manaba」を活用し、授業担当者と学生が自由に双方向のインターネットを利用した学びができる環境を提供している。

今回の収容定員変更に合わせて教育方法、履修指導方法を変更するといったことは行わないが、以上の取り組みを継続して行うことにしており、収容定員変更前と同等以上の内容を担保することができると思う。

(3) 教員組織の変更内容

今回の収容定員変更を行った場合の、大学設置基準に定める「学部の種類及び規模に応じ定める専任教員数」、「大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数」については、現在の専任教員数のままですでに基準を上回っている。

なお、FD活動や教員評価制度を通じて各教員の意識・能力を高め、また、ティーチング・アシスタント等を積極的に活用するなどの取り組みを継続して行うことにしており、教育の質の維持・向上に資するものとする。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容

千代田キャンパスでは再開発プロジェクトが完了し、平成25年のE棟を皮切りに、平成26年にF棟とJ棟、さらには、平成28年に講義室、ゼミ室のほか情報処理実習室・自習室、研究室等を備えた地上8階、地下2階のH棟、平成29年度に2つのアリーナ、学生のためのアクティブラーニングスペース、講義室、ゼミ室等を備えた地上7階、地下2階のG棟が完成した。先進的な設備を備えた講義室、ゼミ室、実習室等が数多く配置され、学習環境が格段に改善されている。

当該キャンパスである多摩キャンパスでは、今回の収容定員変更に合わせて施設・設備を変更するといったことは行わないが、多摩キャンパスに所在した社会情報学部、比較文化学部の千代田キャンパスへの移転（平成26年7月までに理事会決定、その後広報開始、平成30年4月をもって千代田キャンパスの前述の新校舎に完全移転）に伴い、それらの学部で使用していた施設・設備が全学共用部分として使用できるようになっている。

今回の収容定員変更を行っても、大学及び人間関係学部全体としての収容定員の変更はないため、十分な施設・設備は備えられている。

資料1

入学志願状況等

学部等名	項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
人間関係学部 人間関係学科 社会学専攻	入学定員	75	75	75	75	75
	志願者数	469	277	339	506	736
	受験者数	452	271	322	493	725
	合格者数	195	185	224	278	150
	入学者数	90	89	92	101	94
	志願倍率	6.25	3.69	4.52	6.74	9.81
	入学定員超過率	1.20	1.18	1.22	1.34	1.25
社会・臨床心理学専攻	入学定員	75	75	75	75	75
	志願者数	522	393	383	392	381
	受験者数	505	370	373	382	373
	合格者数	162	201	169	144	169
	入学者数	90	90	91	91	91
	志願倍率	6.96	5.24	5.10	5.22	5.08
	入学定員超過率	1.20	1.20	1.21	1.21	1.21
人間福祉学科	入学定員	100	100	100	100	100
	志願者数	336	311	308	307	357
	受験者数	324	302	295	295	346
	合格者数	262	281	255	222	224
	入学者数	110	100	100	104	111
	志願倍率	3.36	3.11	3.08	3.07	3.57
	入学定員超過率	1.10	1.00	1.00	1.04	1.11

資料2

編入学志願状況等

学部等名	項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
人間関係学部 人間関係学科 社会学専攻	編入学定員	10	10	10	10	10
	志願者数	3	2	3	5	2
	受験者数	3	2	2	5	1
	合格者数	3	2	2	5	1
	編入学者数	0	2	1	4	1
	志願倍率	0.30	0.20	0.30	0.50	0.20
	編入学定員超過率	0.00	0.20	0.10	0.40	0.10
社会・臨床心理学専攻	編入学定員	10	10	10	10	10
	志願者数	1	1	4	1	1
	受験者数	1	1	4	0	1
	合格者数	0	1	2	0	1
	編入学者数	0	1	1	0	1
	志願倍率	0.10	0.10	0.40	0.10	0.10
	編入学定員超過率	0.00	0.10	0.10	0.00	0.10
人間福祉学科	編入学定員	10	10	10	10	10
	志願者数	6	2	1	3	0
	受験者数	6	2	1	3	0
	合格者数	3	2	1	3	0
	編入学者数	3	1	1	2	0
	志願倍率	0.60	0.20	0.10	0.30	0.00
	編入学定員超過率	0.30	0.10	0.10	0.20	0.00